

## 1 研修主題

自己の生き方を考え実践できる生徒の育成を目指して  
～連携型の中高一貫教育を生かした行事や体験的な活動を通して～

## 2 主題設定の理由

### ・生徒の実態（伸ばしたいよさ・改善を図りたい課題等）

家庭で過保護に育てられ、わがままできまり（服装・時間等）を守れなかったり友人関係がせまかったりする生徒が多い。また、部活動や学校行事のような興味・関心があることには意欲的に取り組むが、飽きっぽく一旦挫折するとすぐあきらめてしまう生徒もいる。このため、目的意識を持たせ主体的・継続的に授業・行事等に取り組ませたい。

### ・地域・家庭の実態

地域人材は学校行事へ積極的に参加・協力してくれる。一村一校のため学校への期待が大きい反面、地域・家庭の進路への関心が薄く、地域で子供達を育てていけるよう呼びかけていく必要がある。

### ・教職員の指導力の向上にかかわる課題等

若い教師が多いため、中高一貫教育実施の趣旨を確認し、三校全職員一丸となって研修や実践をする必要がある。

- ・将来を見通した（6年間）進路指導の研修。
- ・地域に根ざした体験的な活動の工夫。
- ・中高の教師の授業交流や生徒の交流活動。

## 3 研修のねらい

中高一貫教育の実践という視点から、教科連携・地域学習・進路学習等を意義あるもののため授業や学校行事等を見直し、生徒が自分の進路を考えて進路選択ができるようにする。

## 4 研修の内容

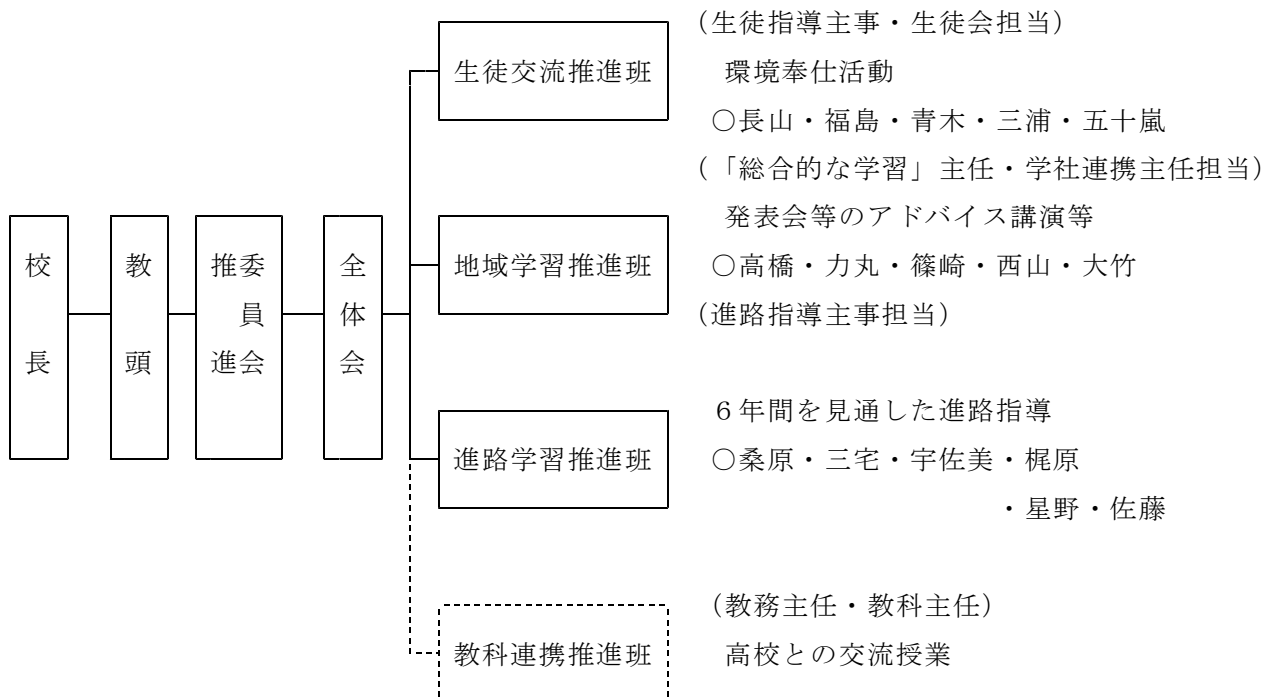
- ・将来を見通した（6年間）進路学習の見直し。
- ・片品村・利根村の地域性や地域の人材を生かした地域学習の実施。
- ・高校生との交流授業の実施。

## 5 研修の経過

月・日	主な研修内容・方法
4・15	<b>第1回校内研修全体会</b> ①校内研修推進計画書について（主題・副主題・ねらい・内容・組織） ②各班での活動・班長の決定・年間予定
4・19	<b>第2回校内研修全体会</b> ①指導主事訪問への準備（推進計画書・全体構想図・各年間計画） ②校内研修推進計画について（研修主題・ねらい・内容・班編制） ③各班の年間計画 ④指導案の書き方
4・22	<b>第3回校内研修全体会</b> ①校内研修推進計画について（研修主題・ねらい・内容・班編制） ②班編制と年間計画 ③その他（指導案・評価規準）（総合的な学習のマニュアルの綴じ込み）
5・7	<b>第4回校内研修全体会</b> ①校内研修の各班の推進について（立案・計画・実施・評価反省） ②中高一貫教育研究の実施 ③指導主事訪問Aに向けて（全体計画・年間指導計画・指導案） ④評価・評定について（通知表・絶対評価）
5・20	第1回尾瀬地域3校合同会議
5・27	<b>第5回校内研修全体会</b> ①中高一貫研修主任より（今後の方向性・授業（TT等）・入試について・関ブロに向けて（写真・記録・作文）） ②各班の推進内容・生徒交流推進班（尾瀬地域環境ボランティア①等）・地域学習推進班（自然観察会等）・進路学習推進班（6年間進路計画） ③指導主事訪問Aに向けての準備 ④各班ごとの打ち合わせ ⑤派遣申請2週間前、バスははやめに教育委員会へ
5・30	尾瀬地域環境ボランティア①
6・6	尾瀬地域国語科TT授業（片品中3年）
6・10	<b>第6回校内研修全体会</b> ①指導主事訪問Aより ②研修の状況確認 ③中高一貫教育 ④今後の取り組み（授業公開・TTの授業実施） ⑤通知表について ⑥各班の部会
6・24	<b>第7回校内研修全体会</b> ①中高一貫教育（授業・尾瀬地域少年の主張・関ブロに向けて・福祉体験活動） ②研修状況の確認（生徒交流推進班・地域学習推進班・進路学習推進班） ③今後の取り組みについて（授業公開（各教科1授業〈中高一貫TTを考慮して〉）の実施） ④指導主事訪問B ⑤絶対評価（通知表） ⑥各班の部会
6・11	自然観察会Ⅲ（3年）説明
6・25	自然観察会Ⅰ（1年）観察
6・28	尾瀬地域数学科TT授業（尾瀬高校1年）
7・1	<b>第8回校内研修全体会</b> ①絶対評価（評価の在り方と評価方法の改善） ②指導主事訪問B ③今後の取り組み（授業公開（各教科1授業〈中高一貫TTを考慮して〉）の実施） ④各班の部会
7・10	尾瀬地域少年の主張大会
7・12	尾瀬地域社会科TT授業（利根中1年）
7、8月	尾瀬地域福祉ボランティア
7、8月	尾瀬地域行事パトロール
8・27	環境講座Ⅲ（3年）

8・28	尾瀬地域高校授業体験（片品中3年）
9・2	<b>第9回校内研修全体会</b> ①中高一貫教育研究主任より②指導主事訪問B（11月11日（月）） 授業（英語 西山先生）高橋・篠崎・青木・宇佐美・福島・大竹 （学活 桑原先生）力丸・三宅・梶原・星野・佐藤・三浦・長山・五十嵐 ③現在の取り組みの成果と課題および今後の予定について ④今後の取り組みと成果と課題（授業公開・教科部会の授業実施・部活動の実施等） ⑤各班の部会（生徒交流推進班・地域学習推進班・進路学習推進班）
9・13	環境講座Ⅰ（1年）
9・20	第2回尾瀬地域3校合同会議
9・26	自然観察会Ⅱ（2年）植生調査
9・27	尾瀬地域環境ボランティア②
10・1	<b>第10回校内研修全体会</b> ①各班の部会 ②指導案検討
10・7	<b>第11回校内研修全体会</b> ①各班の部会 ②指導案検討
10・21	<b>第12回校内研修全体会</b> ①各班の部会 ②指導案検討
2学期	尾瀬地域TT授業の実践および系統図の作成
12・9	尾瀬地域学校保健委員会
1・14	<b>第13回校内研修全体会</b> ①各班の部会 ②指導案検討
1・27	第3回尾瀬地域3校合同会議
3学期	環境講座Ⅱ（2年）

## 6 研修の組織



※研修推進委員・・・校長、教頭、教務主任、研修主任、班長、中高一貫担当  
校内研修全体会の前週の放課後

定例研修日・・・月1回

全体研修 部会別研修